

輸出事業計画

※申請者名：大分県農業協同組合、品目：ぶどう

1. 輸出における現状と課題

○現状

国で開発されたシャインマスカットは食味や貯蔵、輸送性の高さから国内外問わず需要が高まっている。特に東南アジアでの中秋節を中心に贈答品として高値で取引されている。日本の贈答需要期とは時期が異なることから、繁忙期の集中をさけることができ、価格の安定にもつながっている。こうした動きの中、当組合内でも海外を含め新たな販路を求める生産者も出てきたことから、平成27年度の香港に始まり、直近では台湾、タイ、シンガポール向けにも輸出している。

○課題

輸出に取り組む生産者は一定程度存在するがまだ多いとは言えず、地域をあげた取組や産地間が連携した一体となった取組にまで至っていないため、取引先が求める数量や品質等のニーズに応えられない状況も発生している。

また、春節の贈答用としての引き合いがあるものの、貯蔵技術が確立していないため対応できていなかったり、現地が求める仕様の販促資材が提供できていなかったりするなど、現地ニーズを捉えた取組が求められている。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産面】

・当組合の集出荷施設を拠点に管内産地間で連携した大ロット出荷を可能とする輸出体制を整える。春節の贈答用需要に向けた貯蔵については腐敗が一定数あるため、収穫の最適タイミング、資材、温湿度管理などさらなる技術のブラッシュアップを図る。

・県内の輸出産地を増やし、産地間リレー出荷体制を強化して輸出可能期間の延長や輸出量増加につなげる。

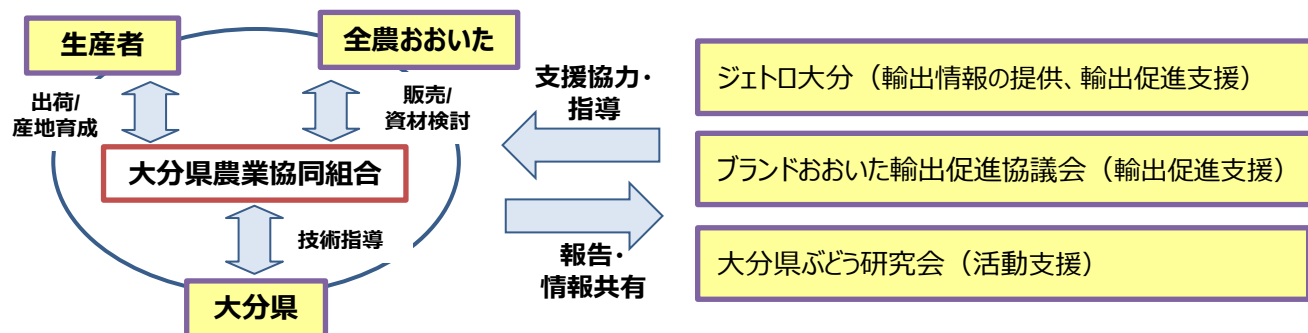
【流通面】

・中秋節と春節で果実の鮮度に差があり、春節は脱粒が起きやすい等の課題があることから船便と航空便の比較・検討を行う。贈答用需要期に輸出する品目について、混載して輸送できないか検討する。

【販売面】

・輸出・輸入事業者に定期的なヒアリングを実施し、各国の現地ニーズに対応した商品づくりや販促資材の制作を行い、競争力を高める。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和5年度）	目標（令和8年度）
輸出額（千円）	17,781	50,000
輸出量（t）	4.4	24
輸出先国	香港・タイ・台湾、シンガポール	香港・タイ・台湾、シンガポール